

信徒講座：宣教の使命に生きる①

始めに

1. **講義の目的**：主の宣教大命令を教会はどう果たしてきたか、又、私達はどう果たすべきかを学ぶ。
2. **参考文献**：「世界宣教の歴史」中村敏著、いのちのことば社刊、2005、「神の宣教」第1巻~3巻、クリストファー・ライト著、東京ミッション研究所刊、2012
3. **自習課題**①主の宣教大命令をあなたはどうか受け止め、どう実行しましたか？これからどう進めていきますか？A4一枚に纏めて、クラス中盤(5月16日)に提出して下さい。②主の大宣教命令を、あなたが携わっている教会、団体グループでどのように進めていきますか？A4一枚に纏めて、クラス最終週(6月20日)に提出して下さい。

I. 「宣教」とは何か

1. **新約聖書に出て来る「宣教」との言葉**：新約聖書には、「宣教」という用語が20か所余り出て来る。全て語源は一つで、Keerusoo(宣べ伝える)というギリシャ語の動詞(例として、マルコ3:14「イエスは…彼らを遣わして宣教をさせ」)またはその変形である。ケーリュクス(Keeruks)は宣教者(1テモテ2:7「私は宣教者に任命され」)、ケーリュグマ(Kerugmatos)は宣べ伝える事(1コリ1:21を意味する)。
2. **イエスご自身が宣教師**：主イエスは「遣わされた者」とご自分を位置付けられた。ルカ4:43-44「イエスは…こう言われた。『他の町々にも、神の国の福音を宣べ伝えなければなりません。私は、その為に遣わされたのですから。』そしてユダヤの諸会堂で、宣教(Keerusoo)を続けられた。」更に、弟子達を「宣教師」と位置付けられた。マルコ3:14-15「イエスは十二人を任

命し、彼らを使徒と呼ばれた。それは、彼らをご自分の側に置くため、また彼らを遣わして宣教(Keerusoo)をさせ、彼らに悪霊を追い出す権威を持たせるためであった。」

3. 教会で使われている「宣教」の意味

宣教 (mission) は ラテン語の "missio" (遣わす) から来ている。Missio とは、「ある特別な義務を遂行する為に、その為の権威をもって遣わす事、又は遣わされる事」。教會的意味では、現存の境界を超えて教会を広げ、教えを為す事、弟子を作る事を意味する。特に、「世界宣教」とは、教会を地の果てに迄広げる意図的な努力を指すものとして用いられている。宣教学者クリス・ライトは「宣教とは、神の招きと命令を受けて、神の世界の歴史において、神の被造物の救済の為に、神ご自身の宣教に神の民として献身的に参画する事」と定義している。伝道とは、ギリシア語の動詞 (euaggelizomai=良い音信を宣伝する) から来ており、「福音を説教する事、又は福音を広げる為の熱心な提示」と定義される (Webster)。伝道は宣教の最も大切な部分である。伝道が福音を公にまた個人に対して宣伝する行動を指すのに対して、宣教は地理的、社会的、文化的な境界を乗り越える事によって教会を広げる為のあらゆる行動を含んでいる。つまり、宣教は広い意味、伝道は狭い意味で捉えられる。

II. 主キリストの宣教大命令

1. **キリストの受肉**: 受肉の目的は父なる神の啓示 (ヨハネ 1:14, 18)、悪魔の業の駆逐 (1 ヨハネ 3:8)、世の救い (ヨハネ 3:16)。シメオンは王国の世界性を予見した (ルカ:25-32)。
2. **主の生涯と働き**: 主イエスの奉仕の主な対象はユダヤ人であったが、サマリア人、ローマ人、ツロ人 (マタイ 15:21-28) に及んだ事は重要である。更に、ご自分の働きとメッセージが世界的なものである事を明らかにされた (ヨハネ 10:16)。
3. **キリストの大宣教命令**

・4つの福音書は皆、主の宣教命令で締め括られている:マタイ 28:19-20 「あなた方は行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、私があなた方に命じておいた、全ての事を守るように教えなさい。」マルコ 16:15-16「それから、イエスは彼らに言われた、「全世界に出て行き、全ての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。信じてバプテスマを受ける者は救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。」ルカ 24:46-48「次のように書いてあります。『キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中から甦り、その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、あらゆる国の人々に宣べ伝えられる。』エルサレムから開始して、あなた方は、これらの事の証人となります。」ヨハネ 20:21 イエスは再び彼らに言われた。「平安があなた方にあるように。父が私を遣わされたように、私もあなた方を遣わします。」使徒 1:8 「しかし、聖霊があなた方の上に臨むとき、あなた方は力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、更に地の果て迄、私の証人となります。」

・**宣教の内容**: 宣教の内容は「キリストの名による罪の赦しを得させる悔い改め」を宣べ伝える事(ルカ 24:47)。「全世界に行って、全ての造られた者に福音を宣べ伝える事」(マルコ 16:15)、「地の果てまで証人となる事」(使徒 1:8)。その基本はキリストの弟子作りを範例とする「弟子化」である。更に「バプテスマ」(信仰告白の公の表明)と「教化」(新たな信仰者が行う全ての事)の中には宣教命令も含まれている。特にマタイの宣教大命令の中で、主の弟子達が、その宣教を通して弟子となる人々に対して「主の命じられた全ての事を教える様に」命じられた事は注目に値する。つまり、宣教大命令は主に選ばれた 11 弟子達だけではなく、その孫弟子である私達に受け継がれるべきものなのである。

・**聖霊付与の約束**: 宣教の働きを推し進める為には、人間的な力ではなく、上からの力によらなければならない。「聖霊があなた方の上に臨まれる」とは、その事である。

・**宣教の範囲**: 宣教の範囲は「エルサレムから始まって地の果て迄」という、漸次的でありながら、しかし終わりなき膨大なものであった。「行け」との命令の意義は大きい。